学校番号	４１６

令和３年度　芸術科[音楽]

教科	芸術	科目	器楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ピアノの基礎から学び、主に独奏に取り組む。
基本的奏法や表現方法の伝授は個人に対して個別・直接指導を通じて具体的に行う。ただし、各人の上達の速度や集中力などは違うので、各人の状況を観察しながら指導をしたい。
目標（発表する場）を設定して課題に取り組み、達成感を味わってもらう。
練習にあたって、仲間とお互いに教えあうことで技術や表現力の向上が求められる。

2　学習の到達目標

器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を身につける。ピアノを活用して、その基礎を身につける。メロディの流れや構造を理解し、楽器を通して表現できるようにするとともに、生涯にわたって音楽を愛好する精神を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	楽器の音色や奏法の特徴（楽器固有の音色や奏法及びそれらによって生み出される響きや表情など）に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形作っている要素（音色・リズム・速度・旋律・強弱・形式・構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。	楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能（奏法・姿勢や体の使い方・読譜の仕方など）を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察、出席状況	観察、演奏の聴取	演奏の聴取	観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	独奏	ピアノの基礎を学習する (バイエル教則本の20番までの演奏を通してピアノ奏法の基礎を学習する)	○	○	○	○	a:音色や奏法の特徴(楽器固有の音色や奏法及びそれらによって生み出される響きや表情など)に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:メロディの流れやフレーズ感、強弱などを作曲者や編曲者の意図を読み取って表現している、若しくは表現しようと努力している。 c:器楽の技能(奏法・姿勢や体の使い方・力強い音を出せる)を身に付け、創造的に表している。 d:模範演奏や仲間の発表の表現意図を理解しようと努力し、積極的に聞けている。	観察 演奏の聴取 (毎時間のチェックと実技テスト) 出席状況

2学期	独奏	ピアノ独奏曲の演奏 「ピアノ独奏曲集」より一曲なし二曲選択し演奏する。	○	○	○	○	a:音色や奏法の特徴（楽器固有の音色や奏法及びそれらによって生み出される響きや表情など）に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。合奏に興味を持ち、他のパートの響きや動きを感じようとしている。 b:メロディの流れやフレーズ感、強弱などを作曲者や編曲者の意図を読み取って表現している、若しくは表現しようと努力している。 他のパートの音やフレーズを感じ取ってお互いに合わせようとしている。 c:器楽の技能（奏法・姿勢や体の使い方・力強い音を出せる）を身に付け、創造的に表している。 d:模範演奏や仲間の発表の表現意図を理解しようと努力し、積極的に聞けている。	観察 演奏の聴取 出席状況
3学期	独奏	ピアノ独奏曲の演奏②	○	○	○	○	a:音色や奏法の特徴（楽器固有の音色や奏法及びそれらによって生み出される響きや表情など）に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:メロディの流れやフレーズ感、強弱などを作曲者や編曲者の意図を読み取って表現している、若しくは表現しようと努力している。 c:器楽の技能（奏法・姿勢や体の使い方・力強い音を出せる）を身に付け、創造的に表している。 d:模範演奏や仲間の発表の表現意図を理解しようと努力し、積極的に聞けている。	観察 演奏の聴取 出席状況

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間を通じて全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。